

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ゴービーPLUS		
○保護者評価実施期間	2024年9月17日		～ 2024年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	2024年9月20日		～ 2024年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名(常勤者)	(回答者数) 8名(常勤者)
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ー常勤での専門スタッフの充実ー(看護師・保育士・理学療法士・作業療法士の配置)	○多職種間での会議ー委員会等は多職種で結成されており、 各々の立場から意見交換 ○研修の充実ー専門職の壁を乗り越えた勉強会の開催	○人材育成ー大学・専門学校等への講義 ○実習生の受け入れー専門分野の実習生を受け入れる事によって、仕事内容を知ってもらう ○スキルアップー各自の資格のスキルアップ研修の受講
2	ー「活動」の充実ー保育士の経験により、健常児同様、生活年齢に応じた活動内容の提供。一人一人の発達段階に応じた課題の提供の充実。社会参加・地域交流に活発に参加していく	○研修への参加ー重症児に関わらず、他の障がいへの理解も含めて、参加できる体制を整える。育成事業等をとおしての研修参加や他の事業所情報を得る ○障害特性の理解に努める	○他の事業間との交流ー「重症の会」を通じての情報交換と情報共有 ○社会資源の活用ー地域の社会福祉協議会やボランティアさんとの交流
3	ー入浴ーご希望者様全員ではないが、ご利用時間内に「入浴」を実施	○個々の入浴手順書の作成	○定期的に手順表を見直し、改善点があれば話し合いを実施

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ー個室の確保ー必要に応じて個別で活用できるスペースが無い	○事業所に置いている座位保持椅子などの補助具の増加 ○素材置き場の確保(倉庫が無い)	○器具類・素材の整理整頓
2	ー地域交流ー	○サービス提供時間が午後からのため、就学前の児童の午睡時間と重なる事が多く、外出が困難。	○土曜日・祝日のご利用の際は気候や体調を考慮して、外出する機会を持つ
3	ー父母会等の開催ー	○コロナ禍で一旦途絶えてしまった、父母活動の実施	○行事への参加の呼びかけ、参観の恒例化

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービス ゴービーPLUS

公表日 2024 年 10 月 21 日

3名(内1名は契約はしたが、来所には

利用児童数 まだ、至っていない)

配布者2名 回収数100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%					引き続き整理整頓を心がけます
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	100%					外出など活動内容に応じた職員配置を行います
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%					合理的配慮のもと、利用者さまの障害特性を配慮した環境作りを行います
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%					その日のご利用者様に合わせた、環境配慮をしています
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					支援の方向性が偏らないように、会議では職員の意見をもらう様になっています
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%					分かりやすく、説明するようにします
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%					日々の活動内容については職員間で話し合っています
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。				100%	通所している保育所との交流はあります	地域交流に対する情報収集と実施に努めます
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					支援プログラム内容の充実
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					保護者様にわかる様説明します
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				100%	情報提供はあります	活動参観への参加をもっと積極的に呼びかけると同時に、内容についても検証していきます
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%					日々の連絡帳にてお伝えしています
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%					モニタリング等を通して、日常の困りごとなどに対する助言・相談は行っています
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				100%	以前のようなイベントを実施を欲しい	今後、ご兄弟支援も踏まえた会の開催等を視野に入れて、行事を組んでいきます
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%					通信・SMS等を利用して、タイムリーな情報発信をしています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	50%			50%	訓練はしているようだが、内容が分らない。 自然災害時にはお知らせがあります	実施時には全体にお知らせするなどの配慮を検討していきます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				100%	災害訓練は行っているようですが、詳しい内容までは分らないです	安全計画についての表示はしていませんが、年間計画での災害・避難等に対する訓練は行っています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%					事故の内容に心がけるとともに、発生した場合は速やかに対応し、説明責任を果たします
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%					
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス ゴービーPLUS		公表日		2024 年 10 月 23 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		・ご利用児の障害特性を考慮しての環境整備	・個別スペースの確保	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	58%	42%	・基本1対1対応で出来る限り、看護師1名はフリーにする	・カリキュラム内容によって人員を見直す(外出時等)	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		・合理的配慮の視点をふまえた環境整備	・個々の移動器具の整理と場所の確保	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・活動内容に応じた場所の確保	・座位保持椅子の整理と検討	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		・利用者様のニーズに合わせた環境設定	・突発的な事に対して対応できる部屋の確保	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		・それぞれに委員会・係などの役割を担ってもらい、各々の立場から業務改善に向けての意見を吸い上げている	業務改善に向けてのシステムの構築	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・保護者様からの意見や質問に対しては、迅速に対応し、職員にもタイムリーに伝達するように心がけている	・職員間の周知と理解と実行	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・職員会議での議題として出してもらっている	・タイムリーに実施する	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%	・社労士を通じて、業務内での事項については相談している	・外部評価の実施を検討	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・積極的な外部研修への参加 ・キャリアアップ研修参加の呼びかけ	・各々の資質の向上	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		100%	・ホームページにて実施	・支援プログラム内容の検討と記載	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		・関わる人が共通に理解できる課題の設定	・職種によってとらえ方に相違があるので、5領域にどの様に反映させていくかが問題点	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・支援会議の実施	・定例化されていない事で、時期によっては偏ってしまうので、計画的に実施するように心がける	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・職員間の情報共有	・各々がタイムリーに確認でき、評価できるスキルを持つ	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		・本来の姿を正しく分析する	・評価の偏りが生じないようにする	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・保護者様が分かりやすい様に、記入するように心がけている	・職員への周知	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		・支援カリキュラムについては保育士会議にて検討	・多職種からの意見を事前に聞いて、検討する	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・季節やイベントに応じた活動内容の工夫	・例年と偏らないように配慮する	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		・個別対応での計画に偏りがちにならないように配慮している	・集団の中での個別対応の工夫
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		・その日の活動内容を職員間で周知・検討 ・時系列での役割分担表を作成	・様々な職種が支援にあたるように配慮
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		・当日に実施出来なかった振り返りは、翌日に実施	・活動計画書への記入が滞りがちになるので、フォーマットの作成を検討
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		・連絡ノートに記入の際は、児の課題等の関連性についても記入するように心がけている	・個人はもちろん、全体でのヒヤリ（気づき）を検討
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		・支援会議にて実施	・個々の児童にとって適切な時期（期間）であるかの検討
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・ご本人・保護者様のニーズに沿った職種が担当者会議に参加出来る様に配慮している	・会議開催以降の交流の持ち方
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		・個々のケースに合わせた関係機関と連携している ・「重心の会」を通じて情報共有、情報提供に努めている	・幅広い分野での研修
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	42%	58%	・相談支援員を通じての連絡に留まらず、積極的に情報発信は心がけている	・双方の見学会の開催
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		・担当者会議での資料提供・情報提供は行っている	・就学前の交流会の開催
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	100%		・講習会への参加を通して、意見交換できる場を設けている	・事業所での研修会の開催
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		100%	・地域活動への協力はしているが、児童と触れ合う機会ほぼ無い	・支援の一環として地域参加は必要なので、困難な点をどの様に克服して行けばいいのか、自分たちも発信していく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・身近な課題の提供に努める	・分かりやすく説明する
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	28%	72%	・SNSを通じての情報提供	・ご家族様で参加できる行事の開催予定	
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	72%	28%	・出来る限り分かりやすく説明するように心がけている	・保護者様のご希望時間帯での対応
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・各々の職員が、日常会話の中から得た情報やご本人・保護者様の意向を確認し、職員間で共有するように努めている	・日常の支援時では不可能なので、移行期などに確認するように努める
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		・計画書の内容を分かりやすく記入	・5領域との関連性についての説明
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・日常会話の中やモニタリングの際に話された相談等については、出来る限り早期に対応するようにしている	・全ての職員が対応できるスキルを身に付ける

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	・参観の実施時に参加されるご家族様同士の交流を企画していたが、コロナなどの感染症の流行で中止となった。	・時期の検討も踏まえて、通年の取り組みとして企画していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	・電話での対応はもちろん、LINEワークスでの対応にも適切に応じている	・常に迅速に対応できる体制作り
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	・通信の発行 ・保護者様の了解のもと、Instagram・ホームページで行事・活動報告を発信	・通信の内容を充実させる
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	・必要時応じて保護者様には許可を頂いている	・移行期のご本人・ご家族様への意思確認
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	・個人個人に合わせての連絡ツールは確認している	・障がい種別の対応の研修
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	・地域活動に対する協体制度は取っている	・地域ボランティアへの依頼など様々な分野での地域参加の方法を知る
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	・流行に応じた事項を想定した、避難訓練・勉強会等の実施	・反省点が活かされているのかを検討する機会を持つ
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	・月1回、災害等訓練の実施	・BCPの内容についての研修会
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	・看護師が中心になり「医療連携用紙」を持ちいて、常に保護者様と確認している	・職員間での周知
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	・契約時に保護者様より情報提供はしてもらっている	・主治医との連絡連携
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	・年間安全計画に基づいて、避難訓練・防災訓練を実施している	・職員の意識向上
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	・計画に沿って実施している事をSNS等で知らせている	・年間の安全計画についての周知
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	・職員会議で再度振り返りを実施し、改善点の見直しも行なっている	・同様なヒヤリハットについての対処方法
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	・虐待委員会の設置 ・発見時のツールの作成	・虐待研修は職員全員が何らかの形で参加できる体制を作る	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	・個々に想定される事項については書面で説明	・ご本人の成長に合わせての、定期的な見直しを定期的実施する	